

D4 深層インタラクション

人とアバターを繋ぐCA基盤の開発

概要

人が様々なCA(サイバネティックアバター)を使って自在に活躍する社会の実現を目指して、人とアバターを結び付ける情報インフラであるCA基盤の開発を進めています。CA基盤の持つCA・通信路の動的な割当て、サービス配信、CA活動のモニタリング等の機能によってCAを使った様々なサービスを円滑に提供することが可能になります。

特徴

- CA基盤では、遠隔操作者とアバターをネットワークを介して結びつけることで受付サービス・案内サービス・接客サービスなどCAを利用した様々なサービスの提供を可能とします。
- 1人の操作者が複数のCAを同時に操作する・複数の操作者が共同で1台のCAを操作するといった多様な利用形態に対応します。複数のCAが共同でひとつのサービスを提供することも可能です。
- CAの活動をモニタリングすることでサービスの利用履歴を蓄積し、蓄積データを活用してCAが提供するサービスの質の向上、サービス提供の効率化を図ります。

今後の展開

- CA基盤のプロトタイプを開発し、CA受付サービス等の実証実験によってCA基盤の機能検証を進めています。CA自体やCAサービスの開発支援、CAサービスの標準化についても検討します。

テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- アバター共生社会においてCA基盤を介して蓄積されるサービスの利用履歴は働く・学ぶ・楽しむなど人間の様々な活動の記録となります。これらのデータは現在のそして未来の人間の活動をより豊かにするために活用できます。

8 働きがいの
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

連絡先: インタラクション科学研究所 担当 内海 章 E-Mail: utsumi@atr.jp

本研究は、JSTムーンショット型研究開発事業、JPMJMS2011の支援を受けたものです。